

みずほCustomer Desk Report 2019/07/16号(As of 2019/07/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	0.00
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.84	1.1271	121.57	1.2571	0.7018
SYD-NY High	108.11	1.1284	121.84	1.2578	0.7041
SYD-NY Low	107.80	1.1252	121.43	1.2510	0.7012
NY 5:00 PM	107.91	1.1258	121.47	1.2517	0.7041
NY DOW	27,359.16	27.13	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,258.19	14.04	日本10年債	-	-
S&P	3,014.30	0.53	米国2年債	1.8341	▲0.90bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.8452	▲2.49bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.0896	▲3.32bp
シカゴ日経先物	21,600	15	独10年債	-0.2950	▲4.35bp
ロンドンFT	7,531.72	25.75	英10年債	0.7985	▲3.60bp
DAX	12,387.34	64.02	豪10年債	1.4595	2.10bp
ハンセン指数	28,554.88	83.26	USDJPY 1M Vol	5.90	0.23%
上海総合	2,942.19	11.64	USDJPY 3M Vol	5.95	0.10%
NY金	1,413.50	1.30	USDJPY 6M Vol	6.11	0.04%
WTI	59.58	▲0.63	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	183.08	▲1.28	EURJPY 3M Vol	6.08	0.10%
ドルインデックス	96.93	0.12	EURJPY 6M Vol	6.50	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月15日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	6月 8.4%/5.8%/6.0%	8.2%/5.5%/5.9%
	11:00	中 GDP(前年比)	2Q 6.2%	6.2%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	7月 4.3	2.0

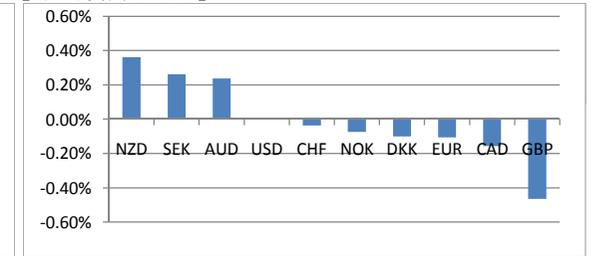
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月16日	17:30	英 ILO失業率(3ヵ月)	5月 3.8%	3.8%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	6月 5.0/-22.0	7.8/-21.1
	21:30	米 小売売上高(前月比)	6月 0.2%	0.5%
	22:15	米 鉱工業生産	6月 0.1%	0.4%
7月17日	02:00	米 パウエル議長講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-108.30	1.1200-1.1290	120.40-122.30

【マーケットインプレッション】

前日のドル円相場は107.80から108.11までの狭いレンジ内での推移となった。米長期金利低下したことや米国の利下げ観測継続によりドル円の上値は抑えられたが、特段の新規材料ない中で大きな値幅の出ない展開となった。本日のドル円は引き続きレンジ内推移継続の予想。米利下げ観測や米国株の下方調整の可能性によりドル円の上値も抑えられることが予想されるが、米中貿易協議についても「今週の対中電話協議が生産的であれば訪中もあり得る」との米財務長官の発言もあり、米中問題についてポジティブなヘッドラインが出てくれば一時的には上昇するだろう。

アジア	アジア時間107.90レベルでオープンした週明けのドル円は、東京勢不在で薄商いとなる中、取引序盤は方向感なく推移。その後、発表された中国4-6月期GDPが前年比+6.2%と前回から減速するも市場予想と一致したほか、同6月鉱工業生産や小売売上高が市場予想を大きく上回ったこと等が好感され、リスクオフが緩和する流れにドル円は一時108.10レベルまで上昇する場面があった。但し、その後は伸び悩み、108.04レベルまで値を下げ海外へ渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.05レベルでオープン。特段の方向感は無かったものの、中国経済指標の結果を好感して上昇したアジア時間の値幅を縮小、ドラッグ米大統領が、ロ米商務長官の交代を考えているとの米メディア報道や、パウエルFRB議長が「ポスト危機時代の金融政策展望」をテーマに、明日、講演を行う事から、107.83まで売られ、107.96レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1272レベルでオープン。手掛かり材料難から全体的に小動きに終始し、1.1263レベルでNYに渡った。(ロンドン時間 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	中国GDPが前回から低下したものの、予想と一致する6.2%となったことや、鉱工業生産が予想を上回ったことから、安堵感に円売りが優勢となり、海外市場で108.11まで戻したドル円は、その後はコモディティ通貨買い、ドル売りが優勢となり、107.96レベルでNYオープン。朝方は7月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的となる。その後は軟調な株式市場の動きを受け107.85まで下押しする。ロンドンフィックスに掛けて107.99まで戻す局面もあったものの上値は重く、その後は107.90付近での推移が続く。午後は、ムーン米財務長官が「議会には休会に入る前に債務上限を引き上げて欲しい」(上院は8/3~9/8まで、下院は7/27~9/8まで休会)との発言が伝わるものの、ドル円の反応は限定的となり、その後は、明日の米小売売上高発表を控え、狭いレンジでの推移が続き、107.91レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、1.1262~84での狭いレンジでの推移が続き、1.1263レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、ユーロ円の下落に連れて1.1252まで下落する。午後は新規材料に欠ける中、1.1260付近での推移が続き、1.1258レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: ウー・小笠原